

平成27年度から平成30年度までの定期監査結果をもとに、計336件の指摘事項等について、指摘事項等の分野及び原因等の分類別に集計

(平成27年度：50件 平成28年度：61件 平成29年度：107件 平成30年度：118件)

定期監査結果の分類結果

【歳出歳入等分野別集計】

大区分	区分	指摘等の件数	主な内容(多いもの)
歳出	契約等に関すること	149件 44.3%	指名審査伺い決裁区分誤り, 業務内容の不遵守等
歳出	サービスに関すること	49件 14.5%	年休の請求方法の誤り, 手当の支給要件の誤り等
歳出	歳出その他に関すること	19件 5.7%	施設運営の告示未実施, 支出負担行為決裁区分の誤り等
歳出	旅費に関すること	17件 5.1%	旅費の計算誤り等
歳出	負担金補助金に関すること	17件 5.1%	補助額の誤り, 合議区分の誤り等
歳出	報償費に関すること	10件 3.0%	報告書の誤記, 支給額の誤り等
歳出	扶助費に関すること	4件 1.2%	報告書の提出遅滞, 添付書類の不備等
歳入	行政財産使用料に関すること	34件 10.1%	減免許可誤り, 使用料納期限の誤り等
歳入	収納等管理に関すること	19件 5.6%	収納金整理簿の記載不備等
歳入	市税の賦課徴収等に関すること	3件 0.9%	減免基準の適用誤り, 固定資産の評価額の算定誤り
歳入	歳入その他に関すること	7件 2.1%	領収書不作成, 調定書発行時期の誤り等
その他	許認可等その他の事務に関すること	8件 2.4%	自家用車の公務使用の承認誤り等
計		336件 100.0%	

【原因等分類別集計】

区分	指摘等の件数	主な内容(多いもの) ※丸数字は件数
意思決定プロセスの瑕疵	69件 20.5%	決裁区分誤り(指名業者伺い, 支出負担行為等)②, 支出負担行為等なしの業務執行②, 支出負担行為等意思決定の時期誤り⑬ほか
契約内容等不遵守	60件 17.8%	契約内容不遵守等⑩, 完了検査未実施等⑬ほか
誤支出・誤収入	41件 12.2%	給与等⑫, 旅費⑨, 使用料収入等(減免基準誤り含む)⑩ほか
消えるボールペン等の使用	16件 4.8%	指名業者審査伺い, 支給調書, 休暇票等
不適切な現金管理	13件 3.9%	収納金整理簿等への誤記載等⑥, 収納金払込日遅滞④ほか
使用料の納入期限誤り	12件 3.6%	行政財産使用許可使用料(継続)における納入期限誤り
不適切な財産管理	6件 1.8%	PC等(備品台帳との相違, 手続きを経ず廃棄)③ほか
1~7以外の法令(規程)違反	87件 25.9%	休暇取得単位・手続き誤り⑭, 収入印紙貼付無・誤り⑮, 設計書・予定価格調書等不作成⑯ほか
9 その他	32件 9.5%	歳入歳出予算等の執行管理に関するもの⑫, 自家用車の公務使用の運用④, 振替後確認印の押印なし③, 設計書副本に予定価格記載③ほか
計	336件 100.0%	

指摘事項等における分野別の傾向を確認すると、歳出分野では主に**契約**、**サービス**、**旅費**の分野での指摘が多く、歳入分野では**行政財産使用料**、**収納等管理**に関する分野での指摘が多く、これらで全体の約8割を占める。

- 歳出
契約、サービス、旅費分野で全体の約**6.4%**
- 歳入
行政財産使用料、収納等管理で全体の約**1.6%**

指摘事項等の原因を大きな区分でまとめると、**「意思決定プロセスの瑕疵」**、**「契約内容等の不遵守」**、**「誤支出・誤収入」**や**「消えるボールペン等の使用」**が多い(全体の約**55%**)。また、それ以外でも**「休暇の取扱」**、**「収入印紙」**や**「設計書等」**に関する事務に対する指摘等が多い(全体の約**26%**)。